

いずみさの
教
育
NOW
問合先
学校教育課

子どもたちの豊かな心の育成をめざして

1948年12月10日、第3回国連総会において「すべての人民とすべての国が達成すべき共通の基準」として、「世界人権宣言」が採択されました。今年、採択後70年という節目の年になります。

「世界人権宣言」が採択された背景には、二十世紀に起こった世界を巻き込んだ二つの大戦があります。特に第二次世界大戦において、特定の人種の迫害や人権侵害、人権抑圧が横行しました。このような経緯から、人権問題は国際社会全体に関わる問題であり、人権の保障が世界平和の基礎であるという考えが主流となり、採択に至りました。

また、1950年の第5回国連総会では、毎年12月10日を「人権デー」として、人権思想の啓発のための行事を実施するように呼びかけています。日本においては、12月4日～10日の一週間を「人権週間」として、全国的に啓発活動を展開し、広く国民に人権尊重思想の普及高揚を呼びかけています。本市においても取組の一つとして「人権のつどい」を開催し

ています。人権のつどいでは、講演などの他に、市内小・中学生による人権作品コンテスト入賞者の表彰と、作品の発表が行われます。市内小・中学生から読書感想文や人権標語、書道やポスターなどの作品を募集し、人権を守る市民の会や人権協会のみなさん、人権擁護委員など市内の「人権」に関わるみなさんと審査を行い、感銘を受けた作品を表彰、発表しています。

各小・中学校においては、子どもたちの豊かな心の育成をめざして、人権教育の取組を進めています。それぞれの取組を通して育ってきた子どもたちの豊かな心をもとに創作された子どもたちの作品は、回を重ねるごとに、審査員のみなさんの心を打つ素晴らしい作品になってきています。

豊かな心は、一朝一夕に育つものではありません。取組を継続し、積み重ねることで、少しずつ育っていくものであると考えます。今後、育ち始めた子どもたちの豊かな心が、枯れることがないように、栄養となる取組を続けていきたいと思えます。

学校園紹介



あいさつの声が響く学校
～日新小学校～

日新小学校では、『一人ひとりを生かす教育』を推進し、個性の伸長に努め、生きる力を育む』を学校教育目標とし、日々の教育活動に取り組んでいます。

【活発な委員会活動】

月1回の定例活動と、日々の常時活動を通して、子どもたちは積極的により良い学校づくりに参画しています。代表委員会は毎朝のあいさつ運動で、登校してくる子どもたちに「おはようございます」と呼びかけ、気持ちよく1日が過ごせるようにしてくれています。集会委員会は、1年生から6年生まで含まれたグループで活動する縦割り活動を引っ張ってくれています。1学期からの活動で、学年を超えてずいぶん仲良くなってきました。体育委員会は、体育



教室を昼休みに行ってくれました。マットや跳び箱を低学年に教えてくれて、上手になったと好評です。飼育委員会は、えさやり体験をさせてくれました。学校にいる鯉とニワトリにえさやりをすることで、生き物をより身近に感じる事ができました。その他の委員会も、活発に委員会活動を行ってくれています。



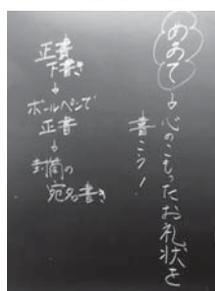
【友愛訪問】

6年生は、毎月校区内の4つの地区を分担して、一人暮らしのお年寄りのお宅を訪問する活動を行っています。1つの地区につき3～4人の6年生が、お年寄りの誕生月に民生委員さんと訪問し、手作りのプレゼントを渡したり、昔の話を聞かせていただいたりして、みなさんに喜んでいただいています。

確かな学びを育む学校づくり
～新池中学校～

本校は今年度から、大阪府教育委員会より「確かな学びを育む学校づくり推進事業」の事業対象校の指定を受けています。今まで以上に、子どもたちに「確かな学び」を育むために、授業改革・改善に取り組んでいます。

授業での約束ごととして、「めあての提示」「学びのスケジュールの提示」「班活動の充実」「ふりかえりの実施」の4点を柱に取組を進めています。子どもたちが学習の見通しをもち、目的意識をもって授業に臨むことをねらいとしています。班活動を通して、一人ひとりが自分の学びへの責任



を持ち、「わからない」を「わからない」で終わらせず、仲間に伝え合うことで、協同して成長していく姿がたくさん見られています。

また、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、「クラス全員が授業内容を理解する」「学び合い」のエッセンスを取り入れた授業を展開しています。子どもたち同士の対話が増え、互いが理解したあとの、子ども

たちの素敵な笑顔が印象的です。

「子どもの学びと教師の学びは相似形」を合言葉に、生徒と教師がともに成長できる学校を目指して、日々、取組を進めています。

